



# 東海市立明倫小学校 ボッチャ体験教室 フォトレポート



平成29年12月5日(火)に、東海市立明倫小学校で「ボッチャ体験教室」を実施しました！！

この体験教室は、障害者スポーツの体験を通して、障害者に対する理解を深め、豊かな人権感覚を養うことを目的としています。

## ♪ボッチャとは・・・

ボッチャとは、決められたコートの中で「ジャックボール」(目標球)と呼ばれる、白いボールに、自分の持ち玉をどれだけ多く近づけられるかを競う競技です。障害によりボールを投げることができなくても、「ランプ」と呼ばれる勾配具を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば競技できます。



ロンドンパラリンピックにボッチャの日本代表選手として出場した、**加藤啓太氏** が講師として来てくれました！

加藤選手は、脳性麻痺を患い、重度の障害を持っています。

加藤選手からは、「1パーセントの可能性がある限り、障害があっても挑戦する」という話を、自身の失敗体験や成功体験を基に、ユーモアいっぱいに話していただきました。





続いて、  
ボッチャ体験  
です。



加藤選手は、介助者にランプの角度や高さを指示してボールを操作します。わざと遠くに転がした後で、次のボールを当ててジャックボールに近づけるなど、さまざまな技も見せていただきました。さすが、パラリンピック出場選手です！！



みんな、投げたり転がしたりしてジャックボールに近づけていました！



みんなとても上手  
でした！！  
ボッチャを楽しく  
理解できましたね。





楽しいボッチャ体験はあっという間に終わり、加藤選手から、児童のみんなにロンドンパラリンピック出場時のユニフォームの贈呈がありました。児童からは、感謝の言葉が伝えられました。



ユニフォーム贈呈



感謝の言葉



～名古屋法務局から～

東海市立明倫小学校の皆さん、  
忙しい中駆けつけてくれた加藤選手やその関係者の  
方々、  
本当にありがとうございました。

ボッチャ体験教室を通して、障害のある人について理解  
が深まり、新たな発見もあったと思います。

次年度も、愛知県内の小中学校でボッチャ体験教室を  
開催する予定です。

